



いやし系の沢？

奥秩父

股ノ沢

金沢

【日時】 2010年7月18日(土)～2010年7月19日(日)

【メンバー】L木下、SL栗原、金沢

せっかくの3連休も天気が悪く1泊の沢となってしまった。

今回が自身の4回目の沢山行だが、今回は今までの滝だらけの沢で無く、沢の良さを満喫できるような余裕のある山行をしたいと思っていた。今回は「いやし系」の沢との事前情報。優雅な歩きを期待していたが・・・

メンバーの木下さん、栗原さんは超ベテランの二人。奥秩父の「いやし系」の山容も楽しみつつ、技術もしっかり習得していきたい。

7月18日(土)

夜の道を快調にとぼし道の駅にて前泊し起床。天気は晴れている。

入川溪谷観光釣り場に車を止め7時頃に登山開始。足慣らしには丁度良い約1時間の林道歩きが続く。丁度飽きたころに林道が終わり、いよいよ入川本流に遡行する。さすがに本流だけあり今までの支流歩きの沢に較べて水量は多く感じ、音も3mぐらい先を歩くメンバの声すらも聞こえないぐらいの大きな音を立てて流れている。

先頭歩く木下さんは水量と水深を的確判断しながら左右にルートを代え渡渉を進めていく。自分も流されそうになりながらも先の渡渉訓練で練習したことを思い出しながら二人のベテランになんとかついて行く。木下さんの後を渡渉すると流されないが調子に乗って自分で選んだルートを渡渉すると滑って流されてしまう。やっぱり経験に勝るものはないんだな。

本流を進むにつれ水量もだんだん少なくなっていく。代わりに滝やコルジュが増え、慣れない「高巻き」をする機会が増えていく。

今回の高巻きルートは土や木がもろく、触る所、持つ所すべてがぐずれていく。加えて高度もある場所は10m下の方ではゴーゴーと大きな音を立てて濁流となり、ものすごい怖い思いをした。どこが「いやし系の沢」だ！！と誰にも聞いてもらえない文句を言いながら今回は何度出させていただいただろう「お助け紐」を頼りに進むことができた。

15時頃に柳避難小屋に到着。小屋の中はきれいで快適そうだった。リーダー木下さんはここに泊まるつもりだ。自分も慣れない高巻きで体力を全部使い切っていたので正直この小屋で泊まりたかった。・・・10分ほど休憩して二人がなんだか話し合っている。



まさかとは思いついてみると明日のことを考えてもう少し先に進むとの結論。

木下さんの「体力は大丈夫だよな？」という誘導尋問にかかり「はい」と回答してしまつた。この後の2時間はふらふらになりながらも3回ほどあつた高巻きはなんとかクリア(お助け紐あり)できた。小屋から2時間ほど遡行したところに丁度良いテン場を見つけようやく到着。本当に、本当に疲れた。

最後の力を振り絞りツェルトと薪を集め、ようやくビールで乾杯。

沢では初めての夕食当番となり、自画自賛だがレトルト中心のおいしい夕食ができた。ビール 500ml2本はやはり重すぎたかもしれない・・・でもテン場でいっぱい飲みたい。体を鍛えるしかないな。9時ぐらいに就寝。右にラグビーボール大の大きな石があり、じゃまだつたが疲れているのかその石を抱き枕代わりにしてぐっすり眠れた。

7月19日(日)

4時頃起床。空は薄明るくなつている。さすがにTシャツだと寒い。

天気も良く栗原さんが作つたうどんを朝食にし6時出発。

程無くして2つほどの滝があり、昨日よりは少し慣れた高巻きをクリア(お助け紐あり)して8時登山道にぶつかる。なぜか安心した。まだ自分が山屋になれきていないのだろうか?そして登山道を歩く。今風の若い登山者を見つけて、さらに安心した。帰りは登山道をひたすら歩き10時頃に昨日通つた柳避難小屋に到着。入川溪谷観光釣り場まで歩き、温泉と名物?のわらじカツ丼を食べて解散とした。

感想

メンバーの木下さん、栗原さんには今回もいろいろ教えていただき本当に勉強になり、ありがとうございました。新人とはいえ、何度もお助け紐を出してもらい、手取り足取り助けられ、今回の山行を無事に終えることができた。初めて遡行した沢と較べると足の置き場や手の置く位置などは確実に増え、少しづつでも進歩はできているのではないかと思つた。地図読み、ロープワークや滝の登下降、まだまだ習得しなければならぬ技術は山ほどあると感じた。



【グレード】3級

【行程】

7/18 登山口(7:00)ー入川(8:00)ー柳避難小屋(15:00)ーテン場着(17:00)

7/19 テン場発(6:00)ー登山道着(8:00)ー柳避難小屋(9:55)

【地図】 中津峡 居倉 金峰山 雁坂峠